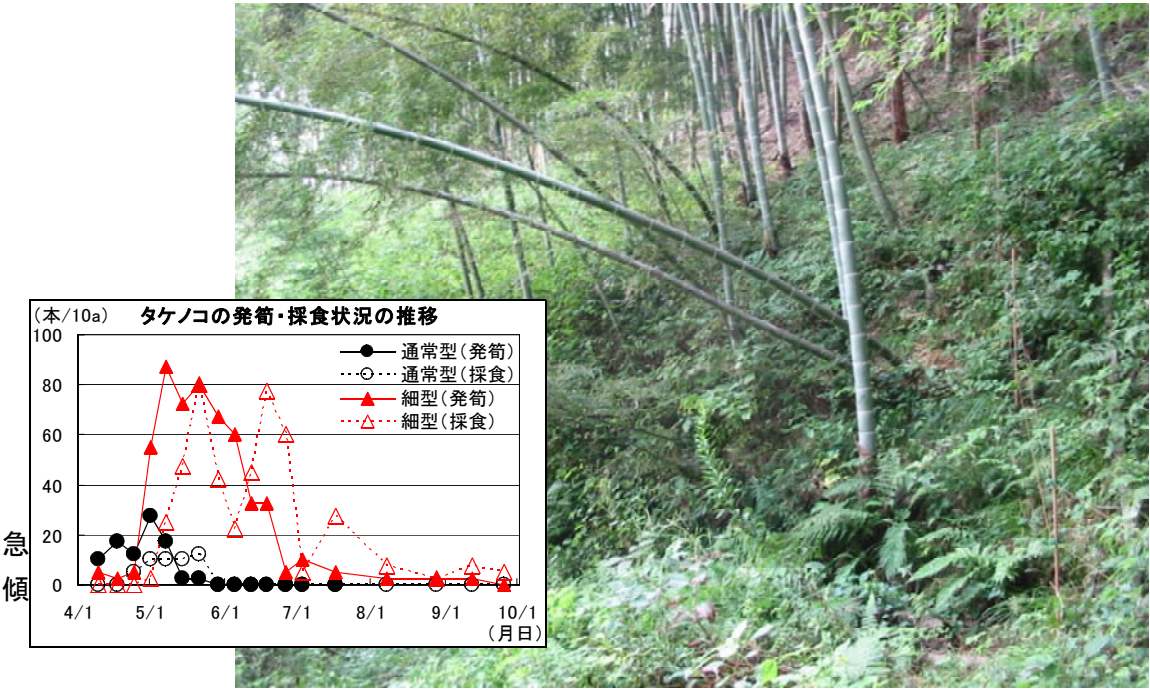


竹林放牧試験地におけるタケノコの状況

昨年から実施している「肉用繁殖雌牛の皆伐竹林への放牧試験」において、本年は通常型と直径2cm以下の細型のどちらのタケノコも昨年より早く4月上旬から生え始めました。

また、昨年同時期と比較すると、通常型は半減し、細型は昨年の約2割と激減しています。

タケノコの採食率については、通常型が急傾斜地で採食されなかったため、71.4%とやや低下しましたが、細型は96.8%と昨年と同様に高い率で採食され、肉用牛の放牧が竹林の拡大防止に効果があると考えられます。



斜地で採食されず、成竹になったタケノコ